



Subaru

男声合唱団 ニュースM510 '15. 7. 5

「日中不再戦・平和友好の集い」で
「昂」オープニング 3曲を熱唱！

1月1日

□7月1日(水)ドーンセンターにて、日中友好協会主催の「日中不再戦・平和友好のつどい 一安倍晋三さんへ「過去の克服」を進言する」集会が400人余りの参加者の中で開催されました。当日は、日中戦争の真っ只中、命をかけて中国で日本兵士たちに向けて反戦放送を続けられた「長谷川テルさんと その遺児暁子さん」をテーマにした朗読劇、そしてテルさんの娘さん・長谷川暁子さんの「日中不再戦・平和への願いを」と切々と訴えかけられた公演で会場は深い感動とともに、安倍内閣の「戦争法案」のごり押しを許さない！との思いを新たにした集会となりました。



出演前のリハーサル風景

男声合唱団「昂」は会のオープニングで「死んだ男の残したものは」「道」(古谷さんのソロ)「歎びのナーダム」の3曲を熱唱し、観客の大きな拍手に包まれました。(本並先生指揮、森二三さんピアノ、石橋さんの司会、参加者27名でした。)

「山賊のギャロップ」「アムール河の波」と「ねがい」
「降りつむ」の4曲をレッスン！

1月3日

□7月3日(金)の定期レッスンは奥村さんの体操、千秋さんのヴォイストレーニングのあと、本並先生の指揮、近藤静さんのピアノ伴奏で、「山賊のギャロップ」「アムール河の波」と「降りつむ」を、伊藤さんの指揮で「ねがい」の計4曲を練習しました。(参加者全29名。)

「ギャロップ」は有名なウイーンナーワルツ、「アムール河の波」はロシアンワルツ曲の代表作として、軽快にリズムにのせて歌うことに力を注ぎました。「ねがい」はピアノ(p)で歌う出だしから64小節まで、終章184小節から終わりまでを男声のファルセットの声で、いかに美しく、響く声で聴かせるか・・・、また「降りつむ」は昨年のうたごえ祭典の受賞曲をもう一度一から作り直す気持ちで!詞のひとつひとつの表現と、正しい音程の和音を響かせることに声を合わせました。



(連絡事項)

1. 「大阪市内南部地域合唱発表会」の実施要項が配布されました。

7月26日(日) 鶴見区民センター小ホール

昂:集合11:00 服装:夏服・9条バッジ

リハーサル①舞台リハーサル 11:15~11:30 ②集会室リハーサル 12:15~

本番:14:39~(6分30秒) 曲目:「春を待つ」「道」

2. 「昂」第5回団内コンサートの「プログラム案」と「リハーサル予定表」が配布されました。

26名の団員から申し込みがあり、プログラムとリハーサルの要項が発表されました。各パートの演奏・近藤さん・森さんのピアノ演奏等もあり多彩なプログラムで当日が楽しみなコンサートになりそうです。

3. 「奈良紫金草合唱団 3rdコンサート2015」のご案内

「奈良紫金草合唱団」の女性団員の役員さんがねむかホールを訪問されました。コンサートのご案内と協力依頼がありました。チケット購入と当日のコンサートへの参加ご協力願います。

日時:7月12日(日) 14:00開演 いかるがホール大ホール (JR 大和路線「法隆寺駅」下車)

「戦後七〇年忘れてならないことがある」

<プログラム> 「糸」「童謡メドレー」「FURUSATO」「若返りの水」「どっこ沼」「街の灯」「ゆらゆら春」「春なのに」「ルビーのような血を流し」「君死にたまふことなけれ」

「紫金草物語(しきんそう物語)」 (入場料:1,000円)

指揮:本並美徳 ピアノ:森二三

合唱:奈良紫金草合唱団・関西紫金草合唱団・「紫金草物語」をうたう特別合唱団

全国紫金草合唱団

(藤後さん、岡邑さん、伊藤さん、長屋(敏)さん、清水さん、馬場さん、三村さんも出演します。)

「初心のうた」(一口レッスンメモ) (5月29日・6月9日のレッスンより)

(「初心のうた」の「レッスンメモ」を作ってみました。「この部分はこの点に注意して!」と思出していただければ幸いです。) (編集子)

A

どこを通ろうと 星を見上げ
ひとりひとり つきとめよう
まちや国のしきみを つきとめよう

「高音部」: T1+T2 の一部
「中音部」: T2 の一部+BR の一部
「低音部」: BR の一部+BS

○この曲の出だしは、聴き手にとって“ぐっ！”と胸に来るところ。“自分”に何かを突きつけられている！そう思わせるようなリアルさを表現してほしい。語る側の表現に主体的な真剣さが要求されるところだ！

他人事のように、一語一語切って歌わない、平板に歌わない！語り部のように、言葉に抑揚をつけて、そして、あけっぴろげな声でなく、抑制された声で(心の中は決して抑制されていないが)、理性的な抑え気味の声で歌いだしてほしい。

○出だしの8小節は中音部(バリトン+T2の一部)と低音部(バス+バリトンの一部)でpからmpで歌う部分。(どこを通ろうと 星を見上げ ひとりひとり つきとめよう)

男声の魅力はP(ピアノ)の部分をきれいに揃えること。この部分も中音部と低音部がテノールのようなきれいな声で歌おう！太い声や地声を一人でも出すと、声が濁って汚い声になる。みんなテノールになったつもりで、発声にこだわって声を出して！

○「どこをとおろうとほしをみあげ」

“どこをとおろうと”の“どこ”はっきり出せ！(「降りつむ」の「かなしみのくに一に」の“かなしみ”の表現！)

“とおろうと”の“と”音程正しく！

“みあげ”的“げ”：濁っている。音程差あり(低い)。きれいな鼻濁音で！“みあげ”発声正しく、縦にあけて、きれいな声で！

○“つきとめよう”は何をつきとめるのか？”まちや国の“しぐみ”だ。もっと意識して“しぐみ”の言葉を出して！

B

殺し屋 作り 駆り立てる 国と人のしぐみを
ひとりひとり つきとめよう つきとめよう

○“ころしや”の“こ”、“作り”の“つ”、“かりたてる”の“か”、“くに”的“く”、“ひと”の“ひ”、“しぐみ”の“し”をはっきりと！

○“ころしやつくり”：一つ一つの語をのど空けたまま発声。

○“ひとのしぐみを一”の“を一”：縦に口を開けて絞って！ m fのままでクレッセンド、その後にfが来る。大声出さないでやや控えめに(声を広げない)

○“ひとりひとり つきとめよう つきとめよう”：“つきとめよう つきとめよう”と何回でも出てくる言葉。はっきりとした言葉で、しっかり出して！最初の“つきとめよう”的“よう”声を落とさない！高めに維持して！2回目の“つきとめよう一”は8分休符をつかまえて、”(うん)“つきとめよう”を揃った声で、思いに激しさを増して！ fで！”よう“の”よ“を強めにしっかり出す。

C

(25)どこをとおろうと 星を見上げ
ひとつひとつ (28)巻きなおそう
U——
まちや村で 歯車を 巻きなおそう

D

隠れた鍵を 捜し当て 夢を動かす 歯車を
隠れた鍵を 捜し当て 巻きなおそう 巻きなおそう 巻きなおそう
ア — — —

E

どこを通ろうと 星を見上げ
ひとりひとり つきとめよう 私たちの未来を

- Cからテンポが変わり、曲に流れ・動きがあり、曲想も変わる。皆さんの”内面の流れ”を出してほしい。♪=120 速いテンポ。厳しく口早くテンポよく。詞も意識も”前へ前へ”と。
- 25小節～28小節（どこをとおろうと 星を見上げ ひとつひとつ 卷きなおそう）は中音部のパートソロ。のんきな言葉の表現ではダメ！“貧弱な声”にならないで、しっかりした声で！
- “まち”的“ま”、“むら”的“む”、“はぐるま”的“の”は“をはっきりと！”む“音下がらない！”
28小節から初めて“卷きなoso”の言葉が現れる。もっと激しく！“ま”激しく、“まき”“なお”“そう”のそれぞれをしっかりとした音で！

”歯車を巻きなoso！

隠れた鍵を捜し当てて(そのカギで)

(我々の)夢を動かす歯車をまきなoso！

そして、一人一人が“私たちの未来“をつきとめようではないか。”

- DからEのセクションがこの曲の大きな山場であり、聴かせどころである。同じ一つの詞を各パートが少しづつずらして歌うことによって、聴く者にとっては何度もその詞を繰り返し聴くことになる。各パートは言いたい言葉をしっかりした声で！

F

アジアの鏡に映る未来を――
私たちの未来を―― 未来を――

- ”アジア“の”ア“：声帯を”弓矢で引っ張る“声で！
- “私たちの”：一言づつしっかり出すのはいいが、もう少しテンポよく、気持ち的に急（せ）いてほしい。
- 最初の58小節の“みらいをーー”：
トップ(高音部)“みらいを”細らないでしっかり出して！
“み”の音程正しく！“ら”：きれいな声で、“い”“を”音程正しく合わせて！各パート自己主張ばかりせずに和音できれいに合わせよう！
- 最後の“みらいをーー”：心を鎮めて！きれいな和音で、十分音を保って、最後まで出して！そしてピアノが音を弾き終わるまで、声は終わっているが、心は終わらないで残っている！



「月下美人」が咲きました！（BR: 山本 力 7月2日撮影）